



春のアラスカ北極圏、群れにはぐれてさまようカリブー

写真展

星野道夫

悠久の時間を旅する

HOSHINO MICHIO THE ETERNAL JOURNEY

私はいつからか、自分の生命と、
自然とを切り離して考えることが
できなくなっていた

2022
1.8 Sat
3.27 Sun



詳細はこちら

[開館時間] 10:00~17:00 (最終入場16:30)

[会場] あーすぶらざ3階 企画展示室 [休館日] 祝日を除く月曜休館

[大人]400円 [高校生・学生・65歳以上の方(左記以外で20歳未満の方)]200円

[小・中学生]100円 [未就学児] 無料 ※常設展示室観覧券と共通

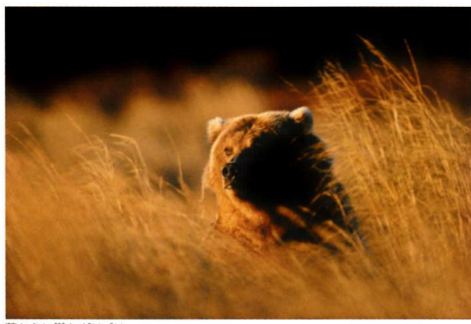
神奈川県立地球市民かながわプラザ

あーすぶらざ

主催 | 神奈川県立地球市民かながわプラザ(あーすぶらざ)
指定管理者 | 公益社団法人青年海外協力協会
協力 | 星野道夫事務所・クレヴィス

ご注意

内容変更や中止の場合は HP でお知らせします。混雑具合などにより入場制限を設ける場合がございますことをご了承ください。



草むらに潜むグズリー



ドールシープ



アラスカの原野に生きる狩猟民族の古老ピーター・ジョン(96歳)

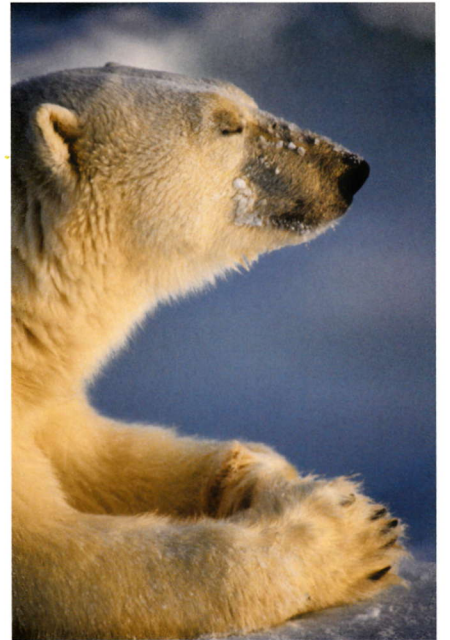


夜空に舞うオーロラのカーテン

写真展 星野道夫

悠久の時を旅する

HOSHINO MICHIO THE ETERNAL JOURNEY



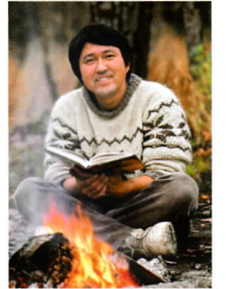
ホッキョクグマ。カナダ・ハードソン湾

撮影：星野道夫

人はいつも、それぞれの光を 探し求める、長い旅の途上なのだ。

少年の頃から北の自然に憧れ、極北の大地アラスカに生きた星野道夫。取材中に事故で亡くなり、25年を経た現在においても、心打つ大自然や動物の写真と美しい文章で、多くのファンを魅了しています。極北の大自然、そこに息づく野生動物や人々、そして語り継がれた神話... 星野は多くの「出会い」を通じて思索を深め、写真家として成長していきました。本展では、20歳の時に初めて足を踏み入れたアラスカの村の記録から、亡くなる直前まで撮影していたロシアのカムチャツカ半島での写真までを一望します。さらに、20歳の時に初めてシシュマレフ村の村長に宛てて書いた手紙などの、貴重な資料展示を交え、旅を終えることなく急逝した星野の足跡を辿ります。未完の作品群から、「自然と人との関わり」を追い続けた星野の新たな旅に思いを馳せていただければ幸いです。 ※本展では、写真や資料展示など約100点を展示します。

写真家 星野道夫 (ほしの みちお)



1952年、千葉県市川市生まれ。19歳のときに目にしたエスキモーの村の空撮写真に惹かれ、村長宛に手紙を書く。20歳の夏休みにアラスカに約3カ月滞在。帰国後、写真家になる決意をし、慶應義塾大学卒業後、動物写真家・田中光常氏の助手を2年間務める。1978年、アラスカ大学野生動物管理学部に入学。以後、アラスカの自然と人々をテーマに写真と文章で記録し発表。1996年8月、カムチャツカ半島で取材中にヒグマに襲われて急逝。アニメ賞・木村伊兵衛写真賞受賞。

EVENT

※詳細・申込はHPをご確認ください。

参加費：無料

>>> 2022 1.8(土) 14:00~16:30 上映会 『地球交響曲第三番』

>>> 2022 2.23(水・祝) 14:00~15:30 星野直子スライド&トーク

「悠久の時を旅する星野道夫が見続けた風景をたどって」

ORIGINAL GOODS

クリアファイルやポストカードなど、写真展会場でしか買えないグッズを販売します。



しおり



ポストカード



マルチホルダー



クリアファイル

※数に限りがあります。売り切れの際はご容赦ください。※写真はイメージです。

神奈川県立地球市民かながわプラザ

あーらぷらざ

指定管理者 | 公益社団法人青年海外協力協会

〒247-0007
神奈川県横浜市栄区小菅ヶ谷 1-2-1
[TEL]045-896-2121
[E-mail]gakushu@earthplaza.jp

JR本郷台駅 徒歩3分



最新情報はこちらから

<https://www.earthplaza.jp/>

最新情報発信中! @earthplaza_kikakuten



【ご注意】内容変更や中止の場合は HP でお知らせします。混雑具合などにより入場制限を設ける場合がございますことをご了承ください。